



卒園児に贈る言葉・・・「強い心」と「しなやかな心」 園長 木村緯歩子



あなたが、まだ小さな赤ちゃんだったころ、
あなたが泣くと、お母さんはすぐにとんできてくれたことでしょう。



あなたが、まだ小さな赤ちゃんだったころ、
あなたが、抱っこ、抱っことせがんでいると、
周りの大人たちは、とっておきの笑顔で、抱き上げてくれたことでしょう。



あなたが、まだ小さな赤ちゃんだったころ、
熱を出したり、お腹をこわすと
おうちのみんなは、一晩心配してくれたことでしょう。



たくさんの愛情を受けて育ったあなた・・・
そんなあなたが、大きくなりました。
少しのことでは泣かないあなたに、なりました。
辛いときにも、がんばれる、苦しいときにも、なげださない、
嫌な時でも、我慢する 強い心が育っています。



友達に、優しく声をかけられる、素敵なあなたになりました。



あなたは、これから、もっと、もっと大きく、強くなる。
大事なことは、「強い心」と「しなやかな心」を、持つこと
両方の心を持って、それを、上手に使い分ることができる人



そんな、大人になってください。
そんな、「あなた」に・・・ になってください。



あたかも、そらを飛ぶ鳥のように・・・

あたかも、水中を泳ぐ魚のように・・・

どんな時でも、生き生きと輝いて・・・



